

平成29年度 第3回 消費生活モニターアンケート集計

1 調査趣旨

◎暮らし向きについて

平成29年10月の月例経済報告（内閣府）では、「景気は、緩やかな回復基調が続いている。」と報告されています。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある、としています。

このアンケートは、毎年ほぼ同じ内容で、消費者の暮らし向きの実態や意識を調査する目的で実施しています。過去の調査結果と比較することで消費者意識の変化を把握するとともに、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

◎食品ロスに関する意識調査

日本では、年間約2,775万トンの食品が廃棄されています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品（いわゆる「食品ロス」）は、年間約621万トン※といわれています。この食品ロスのうちの約45%は家庭から排出されており、1人あたりの食品ロス量は、1日約134g（茶碗約1杯のご飯の量）と試算されています。現在の日本では、食べ物が豊富にあることが当たり前となっており、「もったいない」というモノを大切にする意識が薄れているように思われます。そこで、「食品」に関する意識調査を実施し、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

※…平成26年度推計値

2 調査事項

「暮らし向きについて」、「食品ロスに関する意識調査」

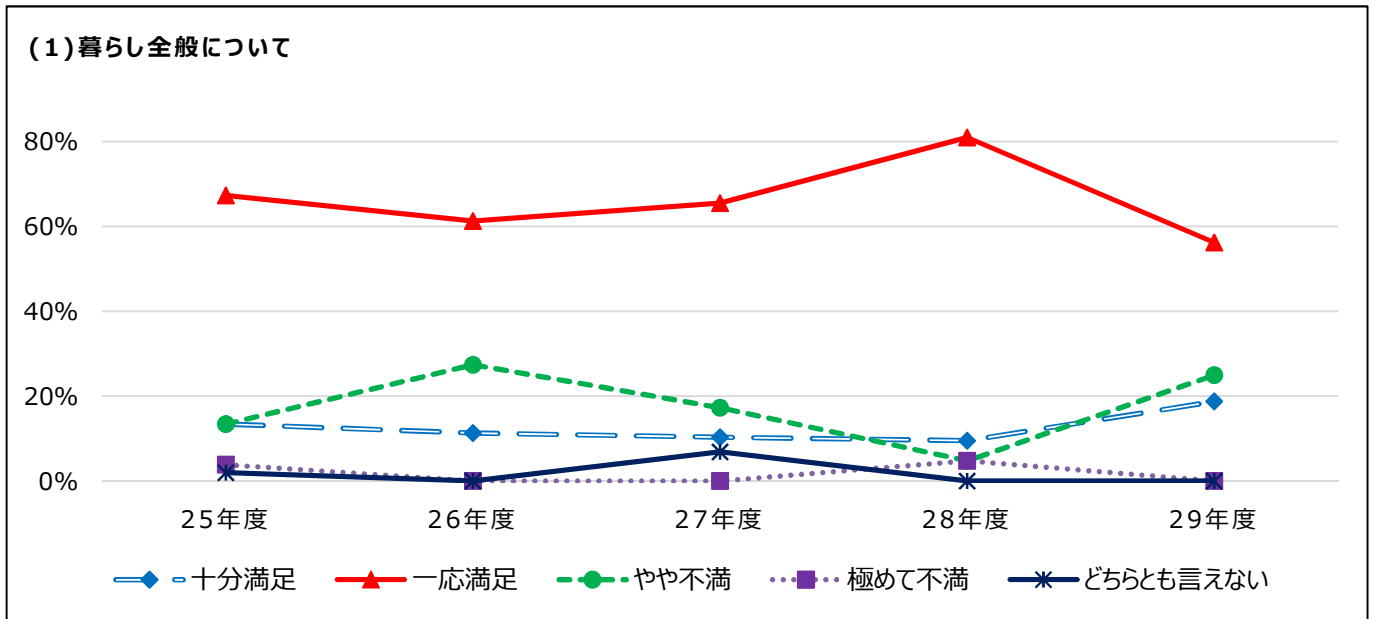
- | | | |
|-----------|----------------|-----|
| 3 調査対象 | 平成29年度消費生活モニター | 16名 |
| 4 調査方法 | 郵送（往復） | |
| 5 回答数・回答率 | 16通・100% | |

- 集計結果について、四捨五入の結果によって合計が100%とならない場合がございます。
- 回答は一部抜粋。

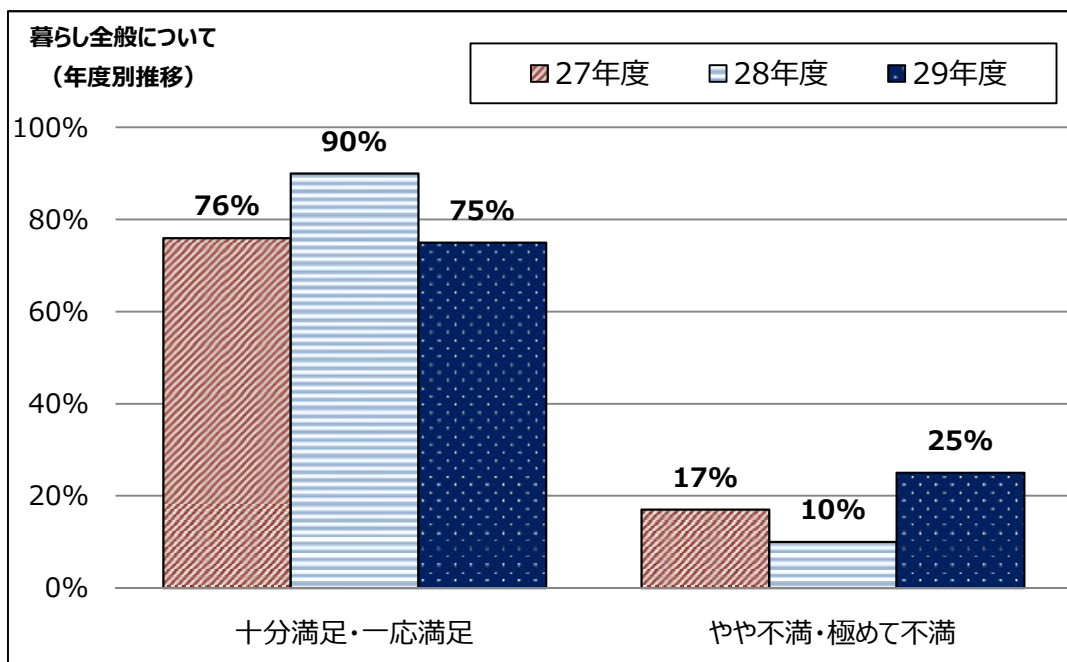


暮らし向きについて

問1 あなたの家庭の暮らし向きについてお伺いします。(1)暮らし全般について(2)衣生活について
(3)食生活について(4)住生活について(5)レジャー・余暇の生活について

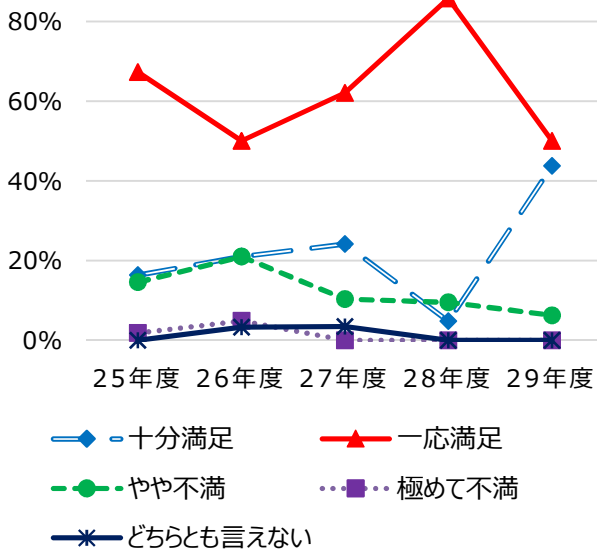


★ 暮らし全般については、『十分満足』『やや不満』が昨年より増加し、『一応満足している』『極めて不満』の回答が減少しています。

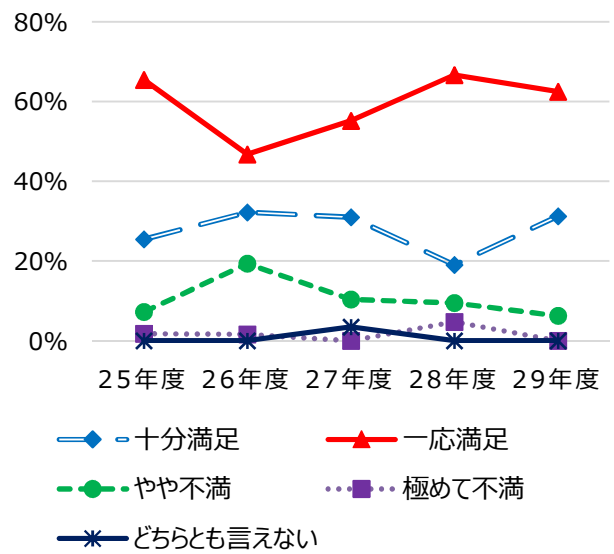


また、暮らし全般の満足度について、平成29年度は『十分満足・一応満足』の割合が減少し、『やや不満・極めて不満』の割合は増加しています。

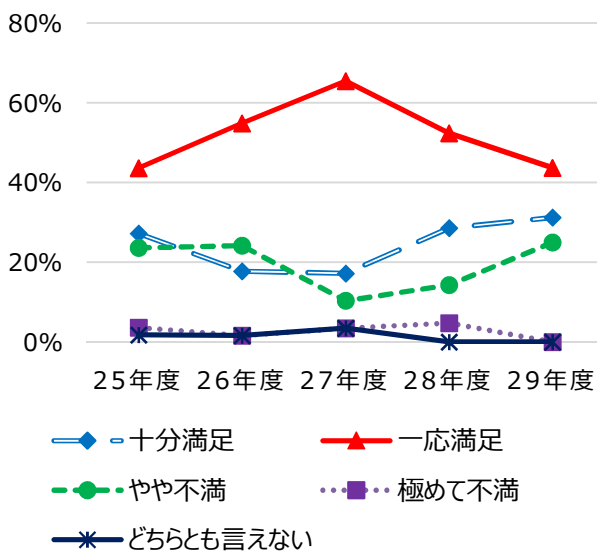
(2)衣生活について



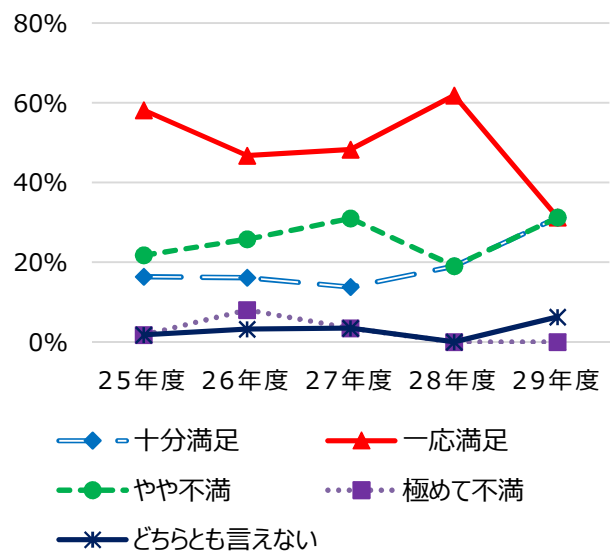
(3)食生活について



(4)住生活について



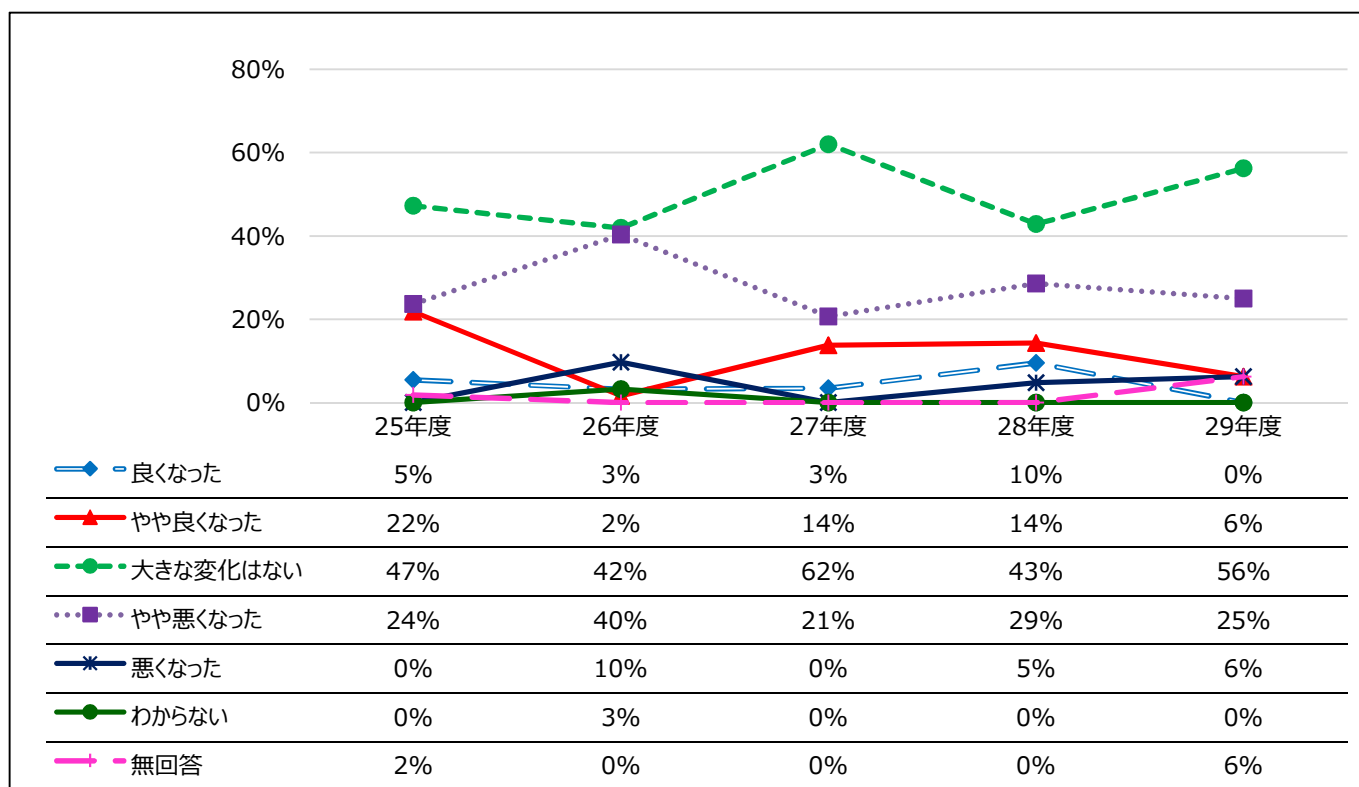
(5)レジャー・余暇について



★ 全ての項目で「十分満足」と回答した方は昨年よりも上昇し、住生活・レジャー・余暇については「やや不満」と回答した方が昨年よりも上昇しました。



問2 あなたの家庭の暮らし向きは、昨年と比べて変化はありましたか？



★ 暮らし向きについて、「大きな変化はない」と回答した方が一番多く、56%となりました。「やや良くなった」と回答した方は8%、「やや悪くなった」と回答した方は4%減少しました。

《具体的な理由》

やや良くなった

- 子供が成人し、学生から社会人になったので学費がなくなった。

大きな変化はない

- 大きい出費を除けば一応年金で増減なく生活できているから。
- 収入・支出に変化が見られない。
- 収入に変化がなく、健康に暮らしているため。
- 努力もあそびもできる。健康である。
- 退職後、収入はないですが、在職中にかかっていた衣料品や外食の費用がないので日常の食料品にあてています。

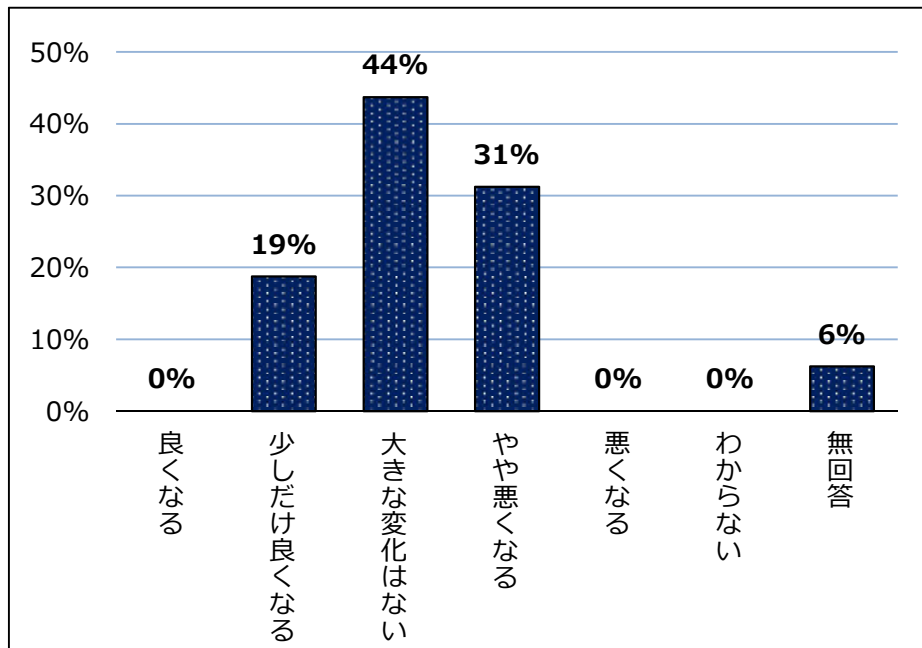
やや悪くなった

- 離れて暮らす家族の医療費やそれに伴う病院への交通費、飼い犬の緊急手術で相当な出費となった。
- 収入のダウン、支出のアップ。
- 年金が減らされた。
- 物価が上がり少し出費が増えた。社会保険料がやや増えた。

悪くなった

- 65歳・年金・独り暮らしで、年金額が下がった。

問3 あなたの家庭の暮らし向きは、来年の今頃にはどのように変化していると思いますか？



《具体的な理由》

少しだけ良くなる

- アルバイトを始めました。

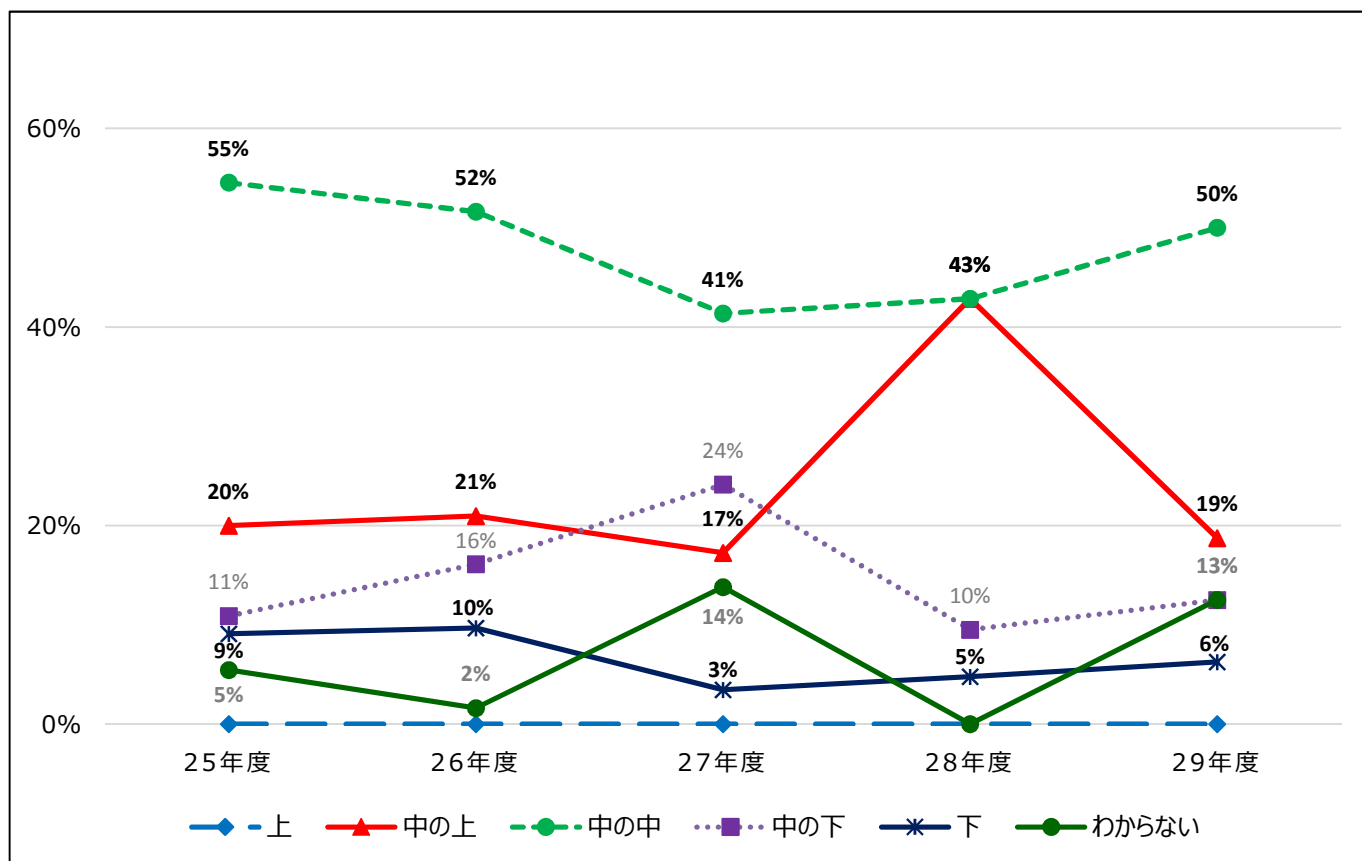
大きな変化はない

- 少し収入が下がったり物価が上がったりしても工夫して対応出来る範囲におさまるのではないかと考えている。
- 収入・支出に変化が見られない。
- 景気が上がると言っているが、株式やドルを持っている人がもうけているだけで、一般庶民はあまり関係がないと思う。我が家は関係なし。
- 収入・支出のバランスを考慮した結果。
- 趣味にまわすお金や、家電製品の耐久年数がかかるものが多く、買い換えのために就職を考えています。
- 努力もあそびもできる。健康である。

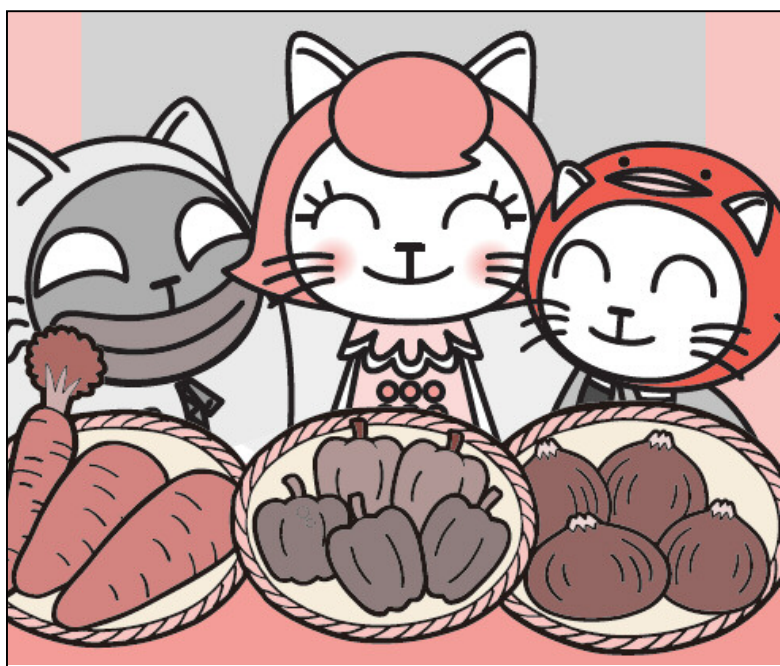
やや悪くなる

- 働いて受け取る給料はさほど変化がない割に税金はどんどん上がる一方な為。
- 夫が定年退職を迎える為。
- 年金が減らされた。
- 今年のみまで推移すると来年も同じだと思う。

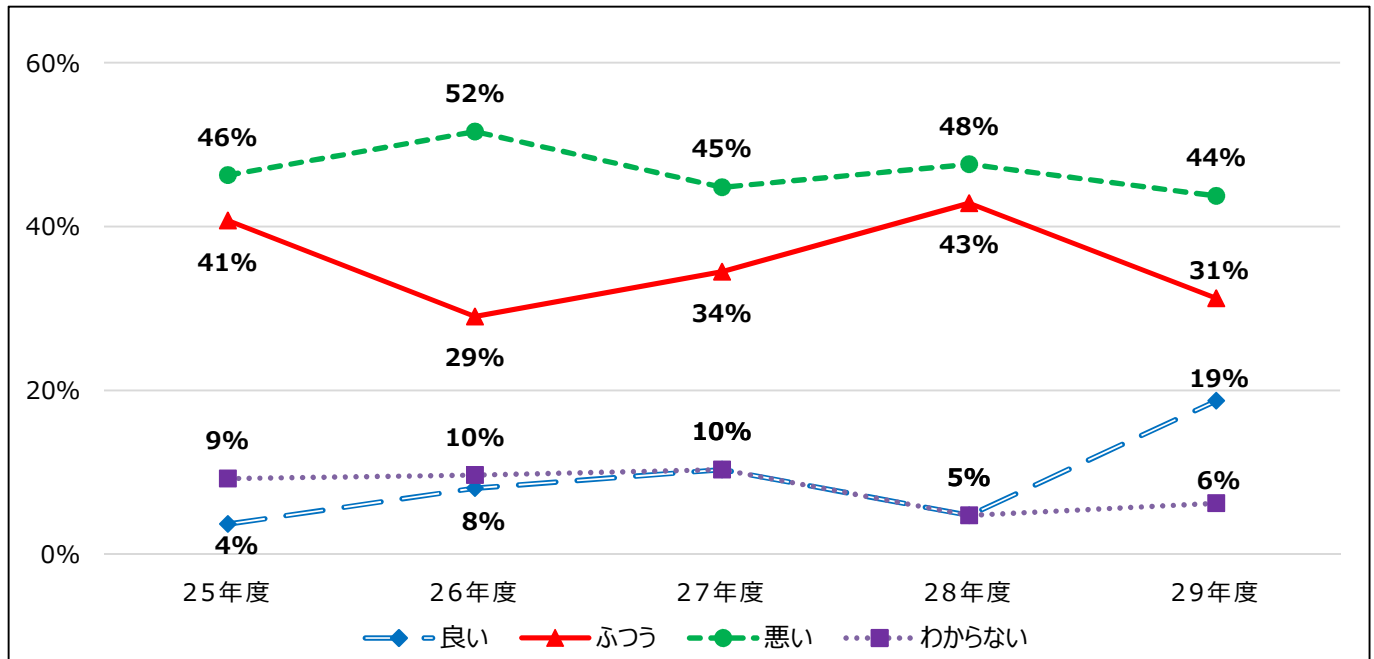
問4 あなたの生活水準は世間一般から見て、どこに当たると思われますか？



★ 「中の中」と感じる方が最も多く、50%の方がそう感じています。「中の上」と感じる方は昨年よりも減少しています。



問5 現在、あなたは景気についてどの様感じていますか？



★ 景気について、「悪い」と感じる方が、前は48%でしたが、今回は44%に減少しました。また、「ふつう」と感じる方が、前は43%でしたが、今回は31%に減少しています。「良い」と感じる方は、前の5%から19%に上昇しました。

《具体的な理由》

良い

- ・デパートに行っても混んでいて良く売れている。旅行も予約がなかなかできないから。
- ・建設されているマンション、工場、リフォームなどが多く見受けられる。
- ・株が高く、旅行に行く人が多い。

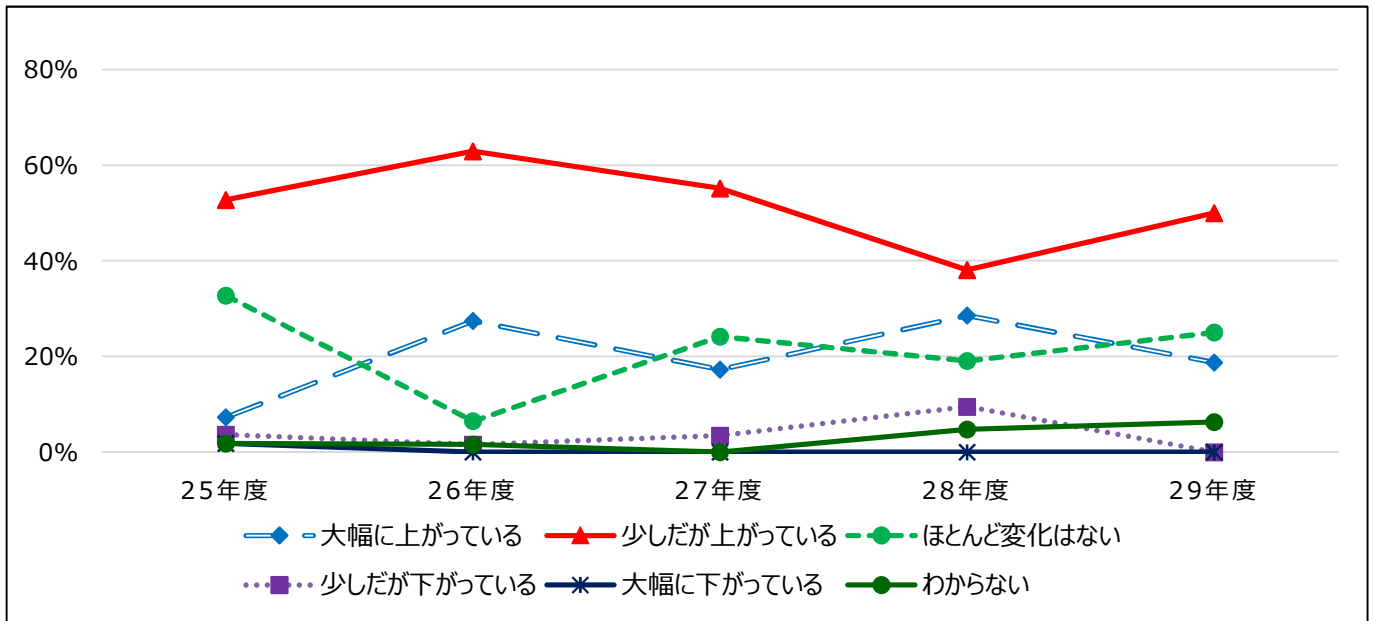
ふつう

- ・絶対に良くはなっていないと思う。但し老人二人だけの生活なので工夫して生活していける範囲かなと思う。
- ・物価が特に高くなったという実感が無いからだと思います。
- ・主婦なので、主人のボーナスが上がったか下がったかなどで景気の良さを判断している。昨年とボーナスも変わらなかったからふつうを選択。
- ・アルバイトをしているから。

悪い

- ・65歳以上の知人が多いが、仕事から離れて年金だけでは暮らしが難しくなっている。
- ・街に活気が感じられない。
- ・世の中の消費が多くなされているとは思えない。
- ・一部企業・個人のみについてのみ景気の良さはあるが、皆という実感は全くなし。
- ・低金利のため、金融機関に預けるよりもタンス預金にする高齢者が減らない。→詐欺の被害に遭いやすい。海外では株投資をする人が多いと聞きます。お金がまわることも景気回復に重要なことだと思います。
- ・父子、母子家庭に対する援助も必要だと思います。
- ・年金生活をしている者にとって、支給年金額が減っていくのが、おかしい。
- ・自分自身景気が良いと感じる事が少ないので。

問6 あなたが日常生活を送る上で、物価について、昨今の今頃と比べてどの様に感じますか？



★ 物価について、「少しだが上がっている」「ほとんど変化はない」「わからない」と感じている方がそれぞれ上昇し、「大幅に上がっている」「少しだが下がっている」と答えた方は減少しています。

《具体的な理由》

大幅に上がっている

- ・時代の流れ変化で昔は電気・水道・ガス・電話・固定資産税・自動車税が公共料金の支払いでしたが、今はインターネットプロバイダ料が入っている。
- ・食品の量が少なく値段が上がっている食品が多い。(例)900mlの牛乳など
- ・スマートフォン使用料はデータ通信容量を増やしたり、ゲームを沢山させようとしたり、アプリなどで支払代金が前年度より高い請求になっている。携帯電話（ガラケー）の約2～3倍になっている。
- ・レタス(298円)やきゅうり(3本 198円)、白菜半分(198円)、トマト(298円)など野菜は大幅に高め。国内産の牛肉や豚肉も値上がりし、代わりに外国産の肉が多くなっている。(フランス産・カナダ産・アメリカ産・タイ産など怖い)
- ・野菜など天候に左右されての高値が激しいです。同じ価格を保つために容量が減ったり、原材料の質を落として味が落ちた商品があります。
- ・皆さん羽振りが良いと感じる。

少しだが上がっている

- ・冬物衣類を買おうと思ったが、値が上がっている感じがする。
- ・旅行ツアー代が高くなっている。
- ・食べ物の価格が少しずつ上がっている。
- ・スーパーに行くと値段が上がっている商品がある。
- ・野菜や油など食品関係の値上がりが多いと実感する。

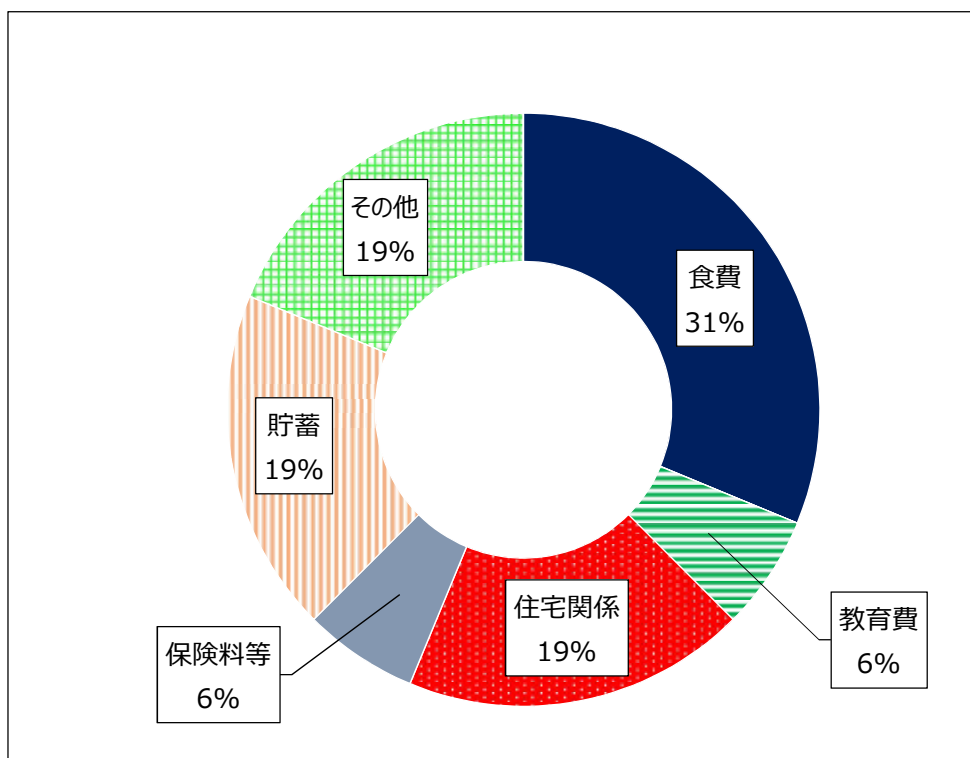
ほとんど変化はない

- ・日常生活に必要な品が昨今の今頃とほぼ同じ価格で売られているから。
- ・ガソリンも前年比横ばい状態。為替相場の安定による輸入品の価格の安定。

わからない

- ・年金生活に入ってそれほど品物も買わなくなったので良く分からない。

問7 あなたが日常生活を送る上で、現在1番生活を圧迫している費用は何ですか？



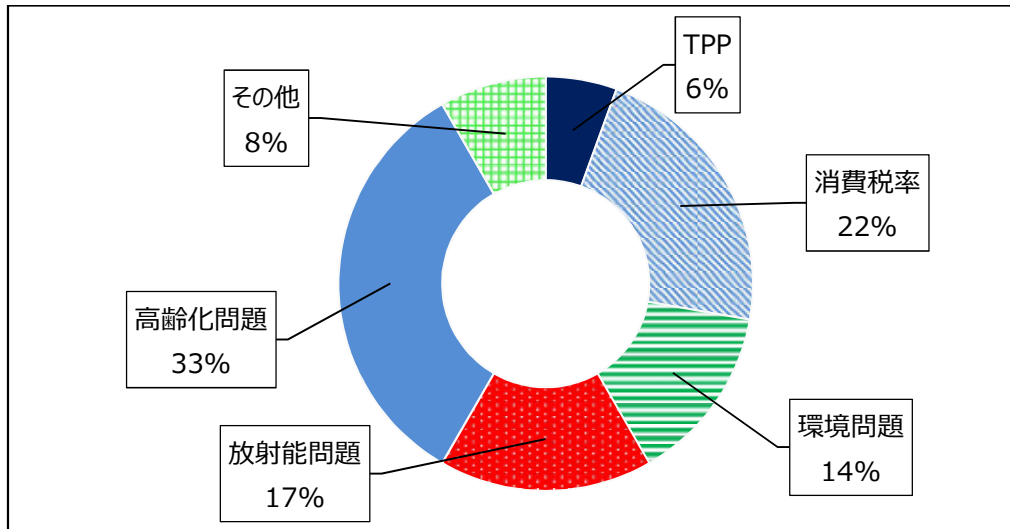
	第1位		第2位		第3位	
平成25年度	食費	24%	住宅関係	20%	その他	18%
平成26年度	食費	32%	教育費	20%	住宅関係	20%
平成27年度	食費	26%	住宅関係	23%	その他	19%
平成28年度	住宅関係	29%	食費	19%	保険料等	19%
平成29年度	食費	31%	住宅関係/貯蓄/その他		19%	

★ 第1位が「食費」で、以下「住宅関係」「貯蓄」「その他」が同順位となりました。

《その他・補足》

- ・(食費) 昨年と比べて食品全般が値上がりしていると感じる。
- ・(食費) 1番と言えばやはり食費です。毎日の事ですから、生活を少しでも切り詰めて工夫して食べています。
- ・(教育費) 子供が高校(私立)に行くので生活を切り詰めていかないといけない。
- ・(住宅関係費) 住宅ローン。(利息が高い)
- ・(保険料など) 特に介護保険料。言葉の使い方は良く聞こえるが、問5に関係する年金、社会保険料の問題。政府が頑張っているように聞こえるが、実態は我々の生活を圧迫している。頑張っている方々はそれほど。
- ・(老後等に備えるための貯蓄) 老後の貯金は少しずつ目減りしているのかなと思う。
- ・(その他) 交際費。
- ・(その他) 銀行借り入れ。

問8 あなたが、暮らしの中で不安に思うことはありますか？



★ 「高齢化問題」、「消費税率」、「放射能問題」、「環境問題」、「その他」、「TPP」の順となりました。
《補足意見》

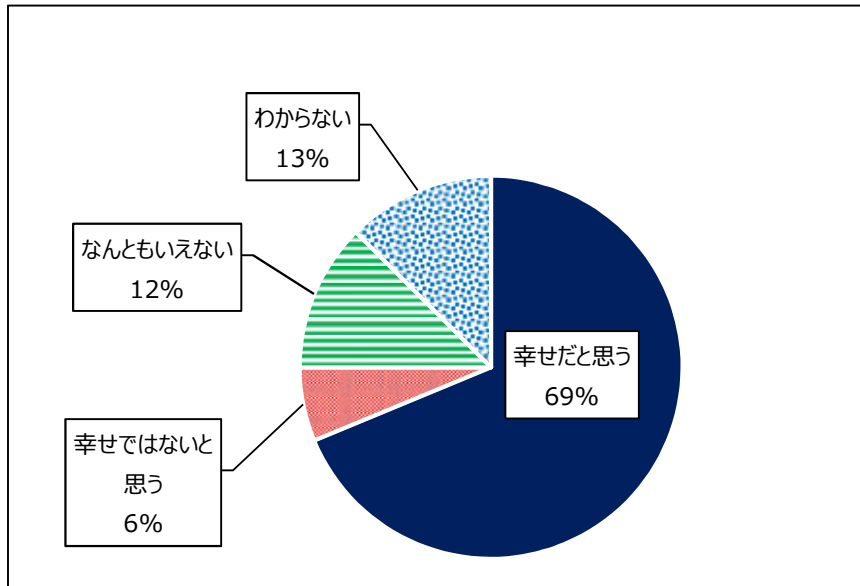
- ・(放射能問題) 地震で懲りているはずなのに、原発が稼働したら取り返しがつかない事になり、日本には住めないし、海の魚も陸の野菜も米も食べられなくなるから。
- ・(その他) 年金の将来支給が下がるのではという不安。
- ・(その他) ケガ、事故など思わぬ出会いが少し心配です。
また、医者にかかる費用もどのくらい必要か目安がないものだから心配です。
- ・(その他) 外国人観光客の増加。外国人の移住者。外国人観光客の違法民泊。
- ・(その他) すぐに切れやすい人の増加。(電車内等での小競り合いが増えている事)
- ・(その他) 全ての項目で何となく不安に思う。

問9 あなたにとって「ゆとりのある生活」とはどのような暮らしですか？

《自由意見》

- ・(日常) 生活に見合った収入・支出。健康による精神的安定。
- ・家族が健康で4～5泊の旅行(登山)等が年4～5回計画できればいいかなと思う。
- ・金銭的な心配もなく、自分の好きな事(習い事・スポーツ・旅行等)ができる暮らし(心にゆとりがある事)等。
- ・金銭面だけでなく心の余裕を持つ事。
- ・相手の立場に立って物事が見られる人が増える事。
- ・経済的なゆとりはもちろんですが、健康で明るい気持ちで日常を過ごせる、心のゆとりがある生活。
- ・健康とお金に困らない生活。
- ・子供が習い事をしたいと言ったら自由に好きなだけやらせてあげたい。主婦なので、自分の洋服などなかなか買うことができない。
- ・子供に頼らず老夫婦世帯だけの収入で生活できる事。
- ・しっかりと働いて休みも取れるワーク・ライフ・バランスのとれた生活。
- ・生活費を特に切り詰めなくても多少の貯金ができる事。
- ・せこせこせず、ゆったりとしておだやかになれる生活。
- ・年金が減らされない生活。私は個人年金に入っていたので多少は助かりましたが、まだまだ厳しい。
- ・70代に入っても仕事ができる環境。
- ・毎月、給料(または年金)が4、50万は入り、旅行にも行けて病気になっても医療費に困らない。食費も自由に使えるお金が手元にあるという事。
- ・毎日元気で旨いものを食べて好きな事を行って、家庭円満で、寝る時「ああ今日もよかった」と思って寝られる事です。

問10 あなたは今、幸せだと感じていますか？



《具体的な理由》

幸せだと思う

- 家族に大きな病気・入院等がなくて、時々旅行が計画できる。食事は旨いし酒も旨い。
- 今のところ、家族（夫、子供、孫）が健康でいられる。
- 夫婦共に健康である。
- 毎日元気で旨いものを食べて好きな事を行って、家庭円満で、寝る時「ああ今日もよかった」と思って寝られる生活をしているからです。
- 家族が健康で仲が良いのでとても幸せに感じています。
- 経済的にはローンがあるので幸せとは言い難いですが、健康に恵まれているから。
- 屋根のある家に住み、衣食住に別段困っていないので、幸せなんだと思う。
- 今のところ健康なのでその点は幸せだと思う。

なんともいえない

- 両親の高齢化、長女の結婚問題。
- この国で暮らしている分には幸せだと思いますが、だんだんと民度が低くなっていると感じていて安全ではなくなっていると思います。

わからない

- 将来の生活が不安で幸せかどうか分からない。

問11 消費税率が、平成26年4月から8%になりました。御自分の生活にどのような変化がありましたか？

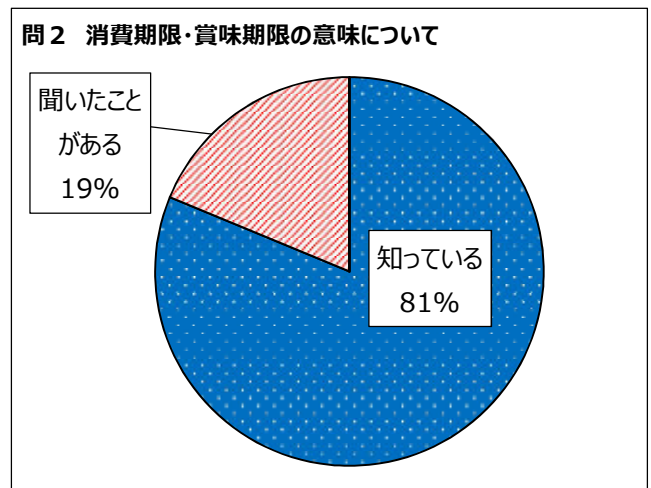
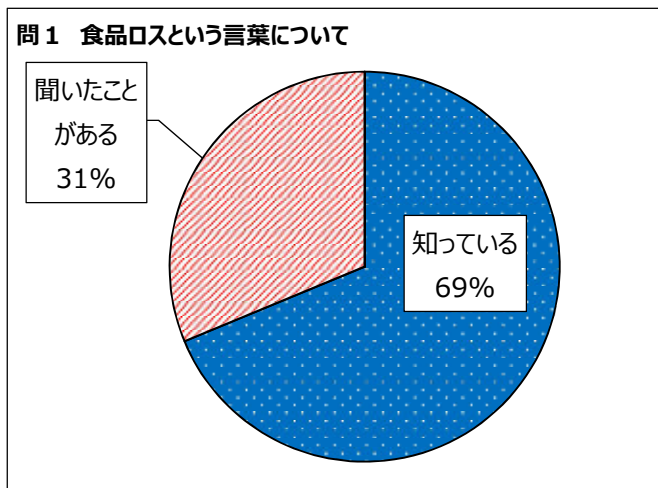
- 少し考えて生活（買物等）する様になったかなと思う位です。
- 買い物の時、大まかに計算した額と支払い金額が違い、あれっと思うことが続きます。
保険対象外の医療費に8%は額が大きく改めて8%を認識させられます。
おつとめ品や半額などのシールが付いている食品を買うようになりました。
- 物価上昇よりも消費税率上昇の方が大変でした。
既に納税した後の収入で生活しているのに、税金の二重取りをされている感があります。
- 家電の買い換えサイクルが長くなり、衣類の購入が減った。
- どの国でも、困った時には苦勞もしないで税金に頼るのはいけない事だと思います。一部ではたよらないで工夫して何とかやっている都市もあります。（名古屋や大阪）
- 大きな買い物（車など）はあまりしていない。
- 物品を購入するにあたり、よく考え、検討してから買うようになりました。又、出かけても費用がかさむので出かけた先での消費が以前より減った気がします。
- 5%から8%になった時は、はっきり言って困惑した。¥10,000→¥10,500→¥10,800はさすがに高いと感じた。洋服や靴やバッグなど、なるべく買わなくなった。毎月1、2万購入していたものが、無駄遣いはやめて、半年に1、2万円の購入だけになった。
- 高額品購入の場合の税負担。
- 確か平成27年頃には10%になる予定だったと思いますが、税率が上がる前に家の改築を済ませました。
- お金がなくなりやすくなった。
- 食事など手作りしても高くつく。
- 必要な物しか購入しなくなった。同じ商品なら安いスーパーで購入する。



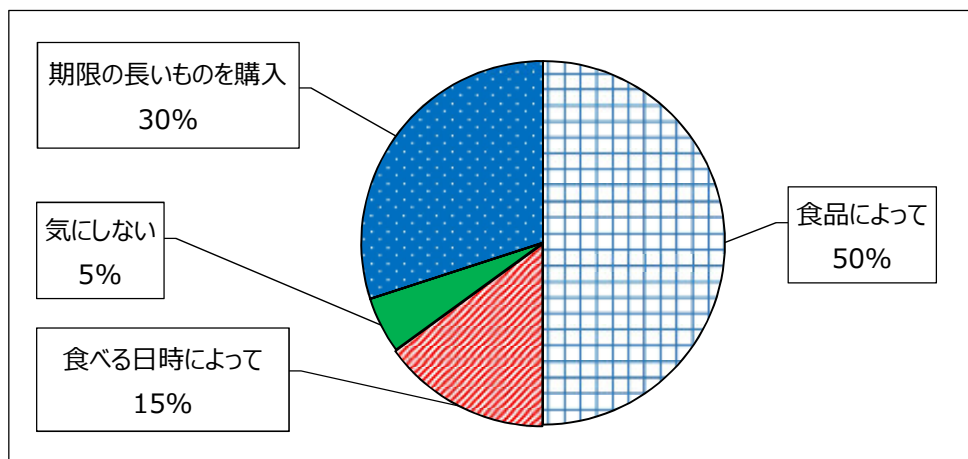
食品ロスに関する意識調査

問1 「食品ロス」という言葉を知っていますか？

問2 賞味期限・消費期限のそれぞれの意味を知っていますか？

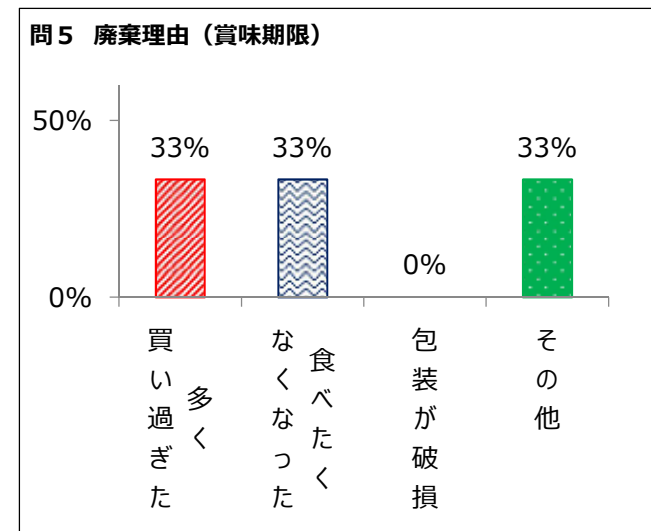
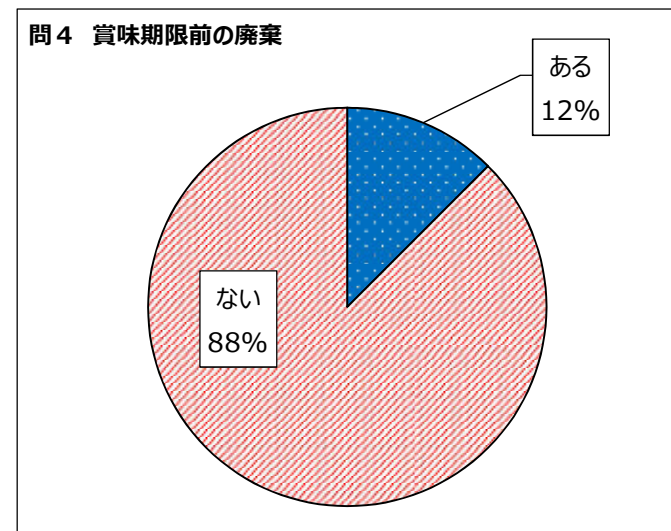


問3 買い物をするときに、期限を気にしますか？（複数回答可）



問4 賞味期限（おいしく食べることができる期限であり、期限をすぎてもすぐに食べられないということではない。主な食品は、カップ麺や缶詰など）前に、食品を廃棄したことがありますか？

問5 賞味期限前に廃棄した理由は何ですか？（複数回答可）

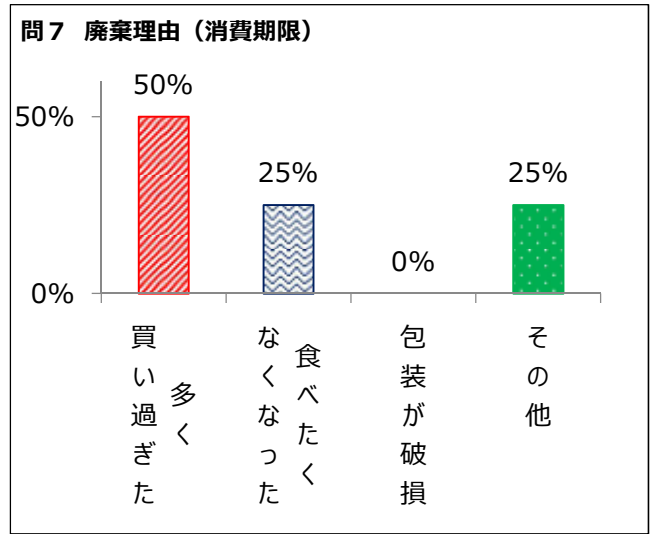
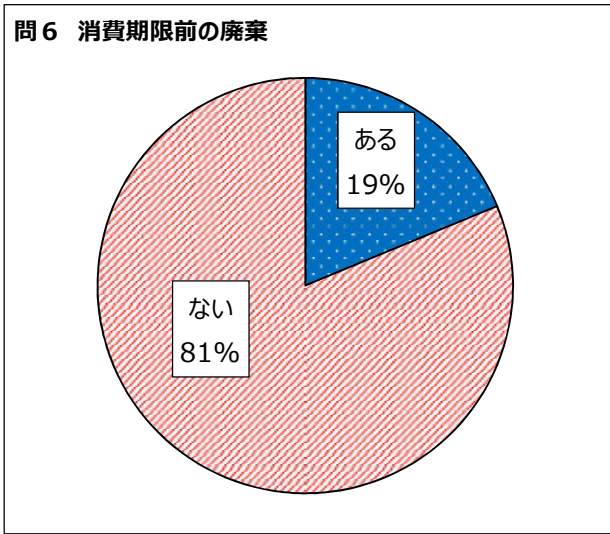


《補足意見》

- ・身内が亡くなった際、家の片付けで沢山食品が出てきました。

問6 消費期限（期限をすぎたら食べない方がいいもの。主な食品は、サンドイッチやお弁当など）前に、食品を廃棄したことがありますか？

問7 消費期限前に廃棄した理由はなんですか？（複数回答可）

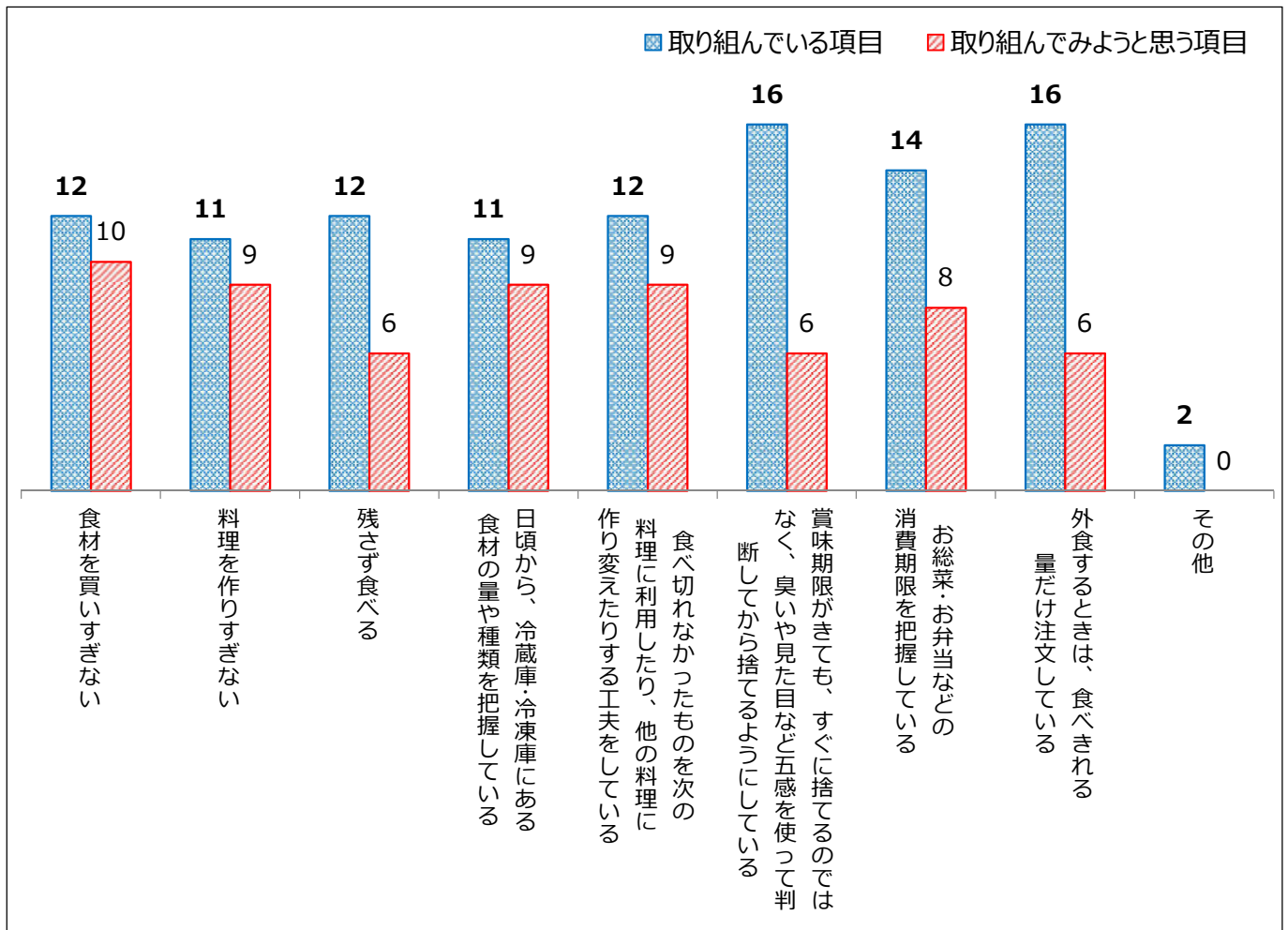


《補足意見》

- ・お腹をこわしたら良くないので。

問8 次の項目で、A：すでに取り組んでいる項目はありますか？

B：今後取り組んでみようと思う項目はありますか？



《その他・補足》

- ・買い物に行く前に冷蔵庫や冷凍庫を確認する。
- ・徹底的に節約、買わない、無駄をなくすために努力している。
- ・寄付する。

問9 本市では、平成30年2月18日(日)に高津市民館で「どう減らす?食品ロス」をテーマにワークショップをする「ごみゼロカフェ」を開催する予定です。ワークショップを実施する上での参考にしますので、あなたが普段実践している食品ロスを減らす工夫、もしくは、あなたが実践することで食品ロスを減らせるアイデアがありましたら、ご自由に記入してください。

- ・冷凍庫を活用する。
- ・現在、冷蔵庫・冷凍庫に入っている物を紙に書き出して、マグネットで扉に貼っておく。使ったら線で消し、買い足した物は書き加えておく。こうすると使い残しが無い。
- ・冷蔵庫の整理の日を一日決め、その日までに使い切るようにしている。すべてなくなった状態で買い物に行く。私の場合は日曜日に買い物に行き、土曜日までに全て使い切る。
- ・見栄を張ることなく、なんでも買いすぎない事。
- ・今ある物を工夫して徹底的に活用する事。
- ・なんでも考えて、努力して、毎日改善する事。
- ・自分があまり好きではない品物をプレゼントされたら、近所の人で欲しいと言う人に届けに行く。
- ・例えばひじきを作った時に多く作りすぎてしまう事があります。煮物として食べる他に、生卵と混ぜて油揚げに入れて煮る、ごはん混ぜる、卵焼きに加えて焼くなど工夫して全ていただくようにしています。
- ・物を買すぎない。
- ・例えば野菜を剥いたまわりの皮(大根、牛蒡、人参など)はスープやラーメンや焼きそばに使う事ができます。余ったおでんはカレーの素、シチューの素と牛乳、具を足してコンソメを入れるとカレーやシチューになって美味しいです。
- ・作りすぎたおかずやごはんをそのまま置いておく事も腐らせてしまう原因です。つまり捨てる事になります。作ったらすぐ冷蔵庫へ入れて、食べない時は何かに変身させたり、冷凍しておく事も大事です。
- ・現在二人暮らしのため、少量パック食品の優先的購入。
- ・出汁を取った後の昆布を煮て佃煮にする。味付けをして電子レンジで乾燥させておつまみにする。
- ・無駄なものは買わない。
- ・割高でも少量パックのお肉などを買う。
- ・私の所では、費用対効果を実践しているのでロスが極力ありません。
- ・スーパーで家内と良く買い物をしますが、販売食品の量をもっと細く(少なく、老人対策、独身者向け)した食品の種類を増やした方がロスが減るのでは?
開発途上国の子供達の食料報道を見る度に感じます。最近3歳の孫を見る度に特に感じます。もったいなすぎます。
- ・料理を作りすぎない。なるべく当日食べきるようにしている。
- ・材料を使い切れるようメニューを考える。



問 10 その他ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

- 皆さんにゴミの減量化、資源化を徹底させるのは罰則でもない限り本当に難しいと思う。
既に一部の自治体で実施している処もありますが、粗大ごみに限らず、すべて有償化（分別回収は色分けの袋で）の袋にしたら少しは意識が変わってくるかと思いますが、京都や他の都市の実施状況等調査してみても良いと思います。
- 食品ロスは足が悪くなり買い物に思うように行けない高齢者に多いのが実状ではないかと思います。
私の母も義母も買い物への不安があり多めに買いだめしています。
- 人は人、自分は自分という生き方を徹底的に行っている。孤独でも平気で、毎日元気で好きな事を行っている。世間を気にしない。
- 食べ物ではないのですが、子育て支援センター（梶ヶ谷）で着られなくなった洋服などを保育園などに持って行って、欲しい人が買って行くイベントを年に2回開催しています。
色々なところで、そのようなイベントが増えて欲しいです。
- 賞味期限切れの商品販売店をもっと紹介して欲しい。（特に貧しい人へ向けて）
少し違いますが賞味・消費期限間近の商品を安売りする店など。
- 昨年札幌に行きましたら、電車内に「日曜日は、冷蔵庫をお片づけ。使いきり！食べきり！で“もったいない”を減らそう。」というシールがあちらこちらに貼ってあり、私たちも学ばなければいけない感心しました。安いから買う。あるのにストックで買うのもやめましょう！
- 地域で共同のコンポストを設置し、生ごみを収集車に出さないようにする。
- バイキングなど食べ放題の料金を適正な価格にする。
- 大食いのテレビ番組を自粛する。
- （おなかを壊したら、持ち帰った人の責任と店からも突き放していただき）ドギーバッグを冬だけでも浸透させたい。捨てるのはとにかく残念。
- フードマイレージをもっと浸透させたい。1kmでも近い所のものを食べよう。
- 環境問題提起のドキュメンタリー映画など、皆で見る勉強会を是非企画してほしい。
- リタイヤした者にとって年金額の減少（政府の勝手な理由）での消費生活は厳しいと思います。
昔（小生が子供の頃。60年以上前）良く言われていた言葉「もったいない」この言葉をスローガンにしていこうと思います。

